

平成30年度
近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

近畿農政局長賞（GAP部門）

京都府初 トマトにおけるGLOBALG.A.P.認証を取得して

きょうとふりつのうげいこうとうがっこう

京都府立農芸高等学校

代表者：長谷川 清隆

京都府 南丹市

主な取組

平成29年4月から農産バイオ科野菜コースの施設トマト（水耕、礫耕）のGLOBALG.A.P.の認証の取得に取り組んだ。認証取得にあたり、農場に潜む問題点を洗い出し、課題研究や総合実習の授業で農場施設や作業工程を改善。同年11月に公開審査を受審し、12月に認証取得。

学校教育にGAPを取り入れ、農場管理のレベルアップを日々進めている。京都府内の農業者や農業高校のよい見本となっており、多くの研修や視察を受け入れ、GAPの普及推進に貢献。

生徒自らがより良い農業を考えるきっかけを創出し、GAPを実践する未来の担い手の継続した輩出が期待される。また、地域の農業者と一緒にGAPに取り組んでいく方針で、地域一帯となったGAPの取組の発展が期待される。

